

ゆめーる・かほく

〔中学校版〕

2015.6.11

No.4

山鹿市教育委員会

教育総務課

山鹿市立鹿北中学校

◆宮城県気仙沼 視察・交流◆

六月四日～六日の二泊三日で、気仙沼視察・交流に本校の伊藤君、田中君と福山先生が行ってきました。被災地の復興はまだまだ進んでおらず、震災の傷跡は今もいたるところに残っていました。あらためて東日本大震災が人々の生活を根底から破壊したことを実感として感じ取ってきました。二日目には、気仙沼市立階上中学校の生徒との交流や意見交換を行いました。階上中学校は、日本一の防災教育を行っている学校です。交流を通して、一番



現地の方から、震災当時の様子について説明をしていただく



階上中学校の生徒との交流。防災について意見交換を行う。

ら信頼される存在であること、何かあれば中学生が率先して、地域の方々を守るができることなどです。防災教育を通して、自立した中学生に成長している姿を目の当たりにして、たくさんの刺激を受けて帰ってきました。学んだこと、感じてきたことを鹿北の地にどのように生かしていくのか、これからが大切となります。

＝ 大学入試改革 ＝

～今の小学6年生から影響～

大学入試が大きく変わろうとしています。まだまだ不透明な点がありますが、ポイントは以下の3点です。

- ① 今の大学入試センター試験を廃止して、知識の活用力を問う新しいテスト「大学入学希望者学力評価テスト」を導入し、年複数回実施する。
- ② 高校在学中に学習の到達度をはかるため「高等学校基礎学力テスト」という新たなテストを設け、進学や就職の際の学力の証明として使えるようにする。
- ③ 大学の個別試験では、筆記だけでなく、小論文や面接、志望理由書など様々な角度から学生を丁寧に多面的に評価するとともに、どんな試験を行うのかを明らかにする。

新しいテストの導入は、「大学入学希望者学力評価テスト」が、2020年度から。「高等学校基礎学力テスト」は2019年度から。（予定）

今の小学校高学年の児童が受験にさしかかる時期になります。



学校評議員会及び

学校関係者評価委員会開催

六月九日（火）、学校評議員会及び学校関係者評価委員会を開催しました。第一回ということもあり、学校の教育目標や方針について説明させていただきました。また、学校の課題についても意見交換をすることができました。

生徒数が減少する中での部活動のあり方、小学校部活動の社会体育化に伴う連携のあり方、中学校教育に期待することなど、たくさんの貴重なご意見を聞かせていただきました。今後の、学校教育の充実に向けて生かしていきたいと考えております。

「地域の子どもは地域で育てる」という熱い思いを伝えていただき、学校、家庭、

地域が一体となって教育活動を行っていることの大切さをあらためて感じました。



今後も、授業参観や学校行事等でも、お世話になります。鹿北の子どもたちの健全な成長のためにご協力をお願いいたします。

学校評議員の皆様

池部 哲博 様 立山 憲介 様
陶山 えつ子 様 鬼塚 知宏 様

学校関係者評価委員の皆様

川野 富士夫 様 山口 儀一郎 様
北原 チズ 様